

新中学校開校に関する保護者説明会の主な質疑応答について

6月23日（水）増穂中学校体育館 参加者101名

6月25日（金）鰐沢中学校体育館 参加者 90名

7月 2日（金）増穂小学校体育館 参加者108名

合計299名の方にご参加いただきました。その中で出た主な質問や意見と、それに対する回答をまとめましたのでご覧ください。

老朽化した校舎の利用に関すること

Q：開校場所の増穂商業高校は古く、汚いと思う。教室は狭く、トイレ、水飲み場も少ないですが、どのような改修を考えていますか。（増小）

A：教室の広さは現在の両中学校とほぼ変わらない広さです。トイレ、水飲み場の設置数が少ないことは把握しているので、増設することを考えています。詳しい改修内容は今後施設部会で検討し決めていきます。

Q：増穂商業高校の施設は古く、プールもありませんがどのように考えていますか。（鰐中）（増小）

A：改修内容は施設部会で検討し決めていきます。プールは利根川・鰐沢プールを利用することも検討しています。

Q：新中学校では増穂商業高校の改修を行い利用するということですが、その後校舎を改築する計画はありますか。（増中）

A：新中学校開校時に改修してから当分の間、現在の施設を使用しますが、10年から15年経過したら、改築を検討しています。

体育施設に関すること

Q：改修の予定は校舎のみですか。体育館、弓道場、部室も改修の対象となりますか。（増中）

Q：体育館はどうなりますか。今の鰐沢中学校より充実した施設にしてください。（鰐中）

A：校舎以外の施設改修についても施設部会で検討していきます。子供が希望を持てる学校にしていきたいと考えています。

Q：部活動で体育館を使うと、増穂商業の体育館だけでは狭くて足りないのではないのでしょうか。(鯉中) (増小)

A：部活動は体育館だけではなく、空いている特別教室を使用することも検討しています。

Q：増穂商業の校舎、グラウンドなどの広さは、増穂中と比較してどのくらいの広さになりますか。(増中)

A：校舎が3棟あり教室数は多くなります。グラウンドも広くなります。

(参考)

	増穂中	鯉沢中	増穂商業
校舎の面積	5,519 m ²	2,780 m ²	6,610 m ²
部屋数	49 部屋	30 部屋	60 部屋
体育館面積	1,355 m ²	1,600 m ²	1,111 m ²
運動場	13,289 m ²	4,751 m ²	19,237 m ²

増穂中学校の利用に関すること

Q：少子化により子供が減少していく中で、今後は、増穂中学校を使用すれば人数は収まるのではないのでしょうか。これまでに増穂中学校の利用は検討されましたか。

(増中) (増小)

A：増穂中学校の利用も検討してきましたが、1学級35人制度や、鯉沢中学校で行っている英語、数学の少人数学習を引き続き行いたいこと、また特別支援学級の教室も確保すると教室数が5部屋足りなくなります。

Q：5教室足りないのであればその分を増設し、鯉沢中学校の生徒はスクールバスで通学する案はどうでしょうか。増穂商業高校を改築するより、増穂中を改修して使用するほうが安いのではないのでしょうか。(増中)

Q：増穂商業高校を改築するのと、増穂中学校を改修しながら使用するのでは、予算はどちらが安いのでしょうか。(増中)

A：改築と改修の具体的な試算はまだ行っていません。ただ増穂中学校については内装や耐震工事がだいぶ前に行われているので、このまま使用する場合は、長寿命化改修を行わなければなりません。長寿命化計画では改築することとなっています。長寿命化改修も改築と同じくらいの費用になると思われます。

建物の耐震性に関すること

Q：増穂商業高校は、役場新庁舎の利用には耐震度が足りないという説明を聞いていますが、その場所が新中学校となることが心配です。(増中) (増小)

A：役場庁舎は災害時の防災拠点となるため、耐震基準が一番高いものとなります。防災拠点としての基準は満たしていませんが、学校施設としては文部科学省の基準を満たしています。また昨年度まで増穂商業高校として使用していたので、学校施設としては問題ないものと考えています。

Q：耐震について、改修の段階で不具合があったらどうなりますか。(増小)

A：耐震改修工事は平成21年に行っていますので、問題ないものと考えています。

候補地と開校時期に関すること

Q：新中学校開校場所が増穂商業高校になることと、令和5年4月に開校することは決定ですか。変わることはありませんか。(増小)

A：町の方針として決定しています。増穂商業高校の利用について、町の方針を山梨県に伝え、県でも協力するという回答を得ており、譲渡に向けて協議を進めています。また開校時期はなるべく早い時期とし、準備期間、工事期間を考慮し、令和5年4月としました。

学校運営に関すること

Q：教育に対し手厚い体制を実施するために統合するのであれば、先生一人に対して生徒数を少なくすることで、手厚い体制になるのではないのでしょうか。(増中)

A：現在山梨県では、1クラス35人学級を基準に先生が配置されています。

Q：校則などを決める際、子供議会などを開き子供の自主性に任せてはどうでしょうか。またそれを交流授業としてはどうでしょうか。(増小)

A：今後、学校運営部会で決めていくこととなりますので、学校運営部会への意見として承ります。

Q：令和5年4月の統合時点での2・3年生はどうなりますか。(増小)

A：入学は増穂中学校、鰍沢中学校になりますが、統合後は一緒になり新中学校での卒業

となります。

Q：高校入試には内申も関係しますが、統合による内申への影響はどのように考慮されますか。(鯨中)

A：今後、学校運営部会で教育課程や教育目標を決めることとなります。その中で両校のすり合わせを行うこととなります。

Q：自転車通学もできるようになりますか。(増中)

Q：まほらの湯付近の家では遠くなりますが、どのようになりますか。(増小)

A：通学距離が遠くなる生徒には自転車通学も検討しています。詳細は今後地域部会で決めていきます。

制服・体操服に関すること

Q：統合時の新入生は新しいものを買うと思いますが、在校生は制服、体操服は買い替えることになるのでしょうか。使用しているものが引き続き使用できますか。

(増中) (鯨中)

A：保護者への負担軽減を考え、経過措置を設け、現在使用している両校の制服、体操服を使用することも検討しています。

Q：体操服は学年で色分けしますか。着回しができるので、名札等で学年別の色分けをしてほしいです(増中)

A：今後、地域部会で検討することになりますので意見として承ります。

Q：制服、体操服を選定するときは、子供、保護者の意見も取り入れる方法を検討してください(増中) (鯨中) (増小)

A：選定する過程で、保護者、児童、生徒にも投票してもらうことを検討しています。

情報提供に関すること

Q：検討部会などの他に、保護者の意見を聞いてもらえる場はありますか(増中) (鯨中)

A：制服、体操服の選定において、アンケートやPTAを通して意見を聞くなど、保護者の意見も聞ける機会をつくるよう検討します。

Q：保護者は統合することに不安です。統合への進捗状況を情報発信してください。(鯨中)

A: 広報ふじかわで開校通信の発行と、ホームページの更新を行い情報発信していきます。
また、必要に応じて保護者に対し、決定事項をお知らせしたいと考えています。

増穂中学校の跡地利用に関すること

Q: 新中学校が増穂商業高校へ移転した後の増穂中学校の利用はどうなりますか。(増中)

A: 増穂中学校は、増穂小学校の大規模改修を行う際の仮校舎として使用することを検討しています。その後は町民体育館の建設を検討しています。

Q: 町民体育館の建設はどのようなものになりますか。(増中)

A: 詳細については、まだ決まっていません。

その他

Q: 統合によるメリットはたくさんあると思います。デメリットは何がありますか。
(鰻中)

A: クラス替えをしたくない子供もいます。また校区が広がることで通学時間が長くなる
ことが考えられます。

Q: 統合することに子供や保護者は不安です。(鰻中)

Q: 統合について保護者や子供が置き去りにされていることに憤りを感じます。(増小)

A: もっと早い段階で説明会を行いたく検討していましたが、新型コロナの感染拡大や新
庁舎建設における活動の影響により、説明会がこの時期になってしまいました。